

# 劇団 東京フェスティバル

Vol.16

## 幸福な職場

作・演出 きたむらけんじ



キャスト  
岡田達也  
【演劇集団キャラメルボックス】  
菊池均也  
・  
桑江咲菜  
東松史子  
・  
滝寛式  
朝倉伸二



# 幸福な職場

製造部

観る前はとても重い内容を想像していたのですが、とても心があたたかくなるお話でした。

「働く」ということを新しい視点で見つめる機会になりました。

温かい気持ちと、幸せな笑いと、元気で、毎日を生きるヒントのようなものをもらった気がします。

幸せになるということは特別大きなことでなくてもいいんですよね。それを改めて感じる事ができて、とてもうれしくなりました。

心にふれる言葉がたくさんありました。終始目頭が熱くなりっぱなしでしたが、笑いもありあつという間の90分でした。

公演時お客様ご感想より

## ビジネス書のベストセラー「日本でいちばん大切にしたい会社」で紹介された日本理化学工業の実話をベースにお送りする感動ストーリー

神奈川県川崎市に黒板で使うチョークのトップメーカー「日本理化学工業」という会社が実在します。ここは全従業員の70%が知的障害者という、障害者雇用を積極的に進めている企業としても知られています。テレビや雑誌でもよく取り上げられているのでご覧になった方も多いと思います。

いまから50年ほど前、まだ世間の偏見が厳しい時代、初めて障害者の方を雇ったときの実話をベースに脚色した舞台、それが「幸福な職場」です。昭和34年(1959年)。皇太子様と美智子様のご成婚パレードがおこなわれ…長嶋茂雄さんがまだプロ野球人生2年目の年…とある町工場を訪ねるひとりの女性教師がいました。彼女は「来春卒業するうちの生徒を雇ってくれませんか?」と、お願いしにやってきたのです。ブラック企業、派遣切り、追い出し部屋などなど、いやなコトバが並ぶ雇用情勢。「人を雇うこと」「雇われること」そして、「人間が働く意味」を問いかける感動物語。この物語は、知的障害者の雇用を題材にしていますが、どこの職場でも起こりうる、ささやかな人間模様を描いています。ありふれた職場に生まれた小さな「幸福」を体験してみてください。(作・演出 きたむらけんじ)

脚本・演出・製作：きたむらけんじ 舞台監督：青木規雄(箱馬研究所)  
音響：香田泉 照明：たなか一絵 美術：渡辺佳子  
協力：株式会社オフィスPSC、演劇集団キャラメルボックス、株式会社クリオネ、  
有限会社藤賀事務所、はえぎわ、株式会社JJプロモーション、有限会社バイ・ザ・ウェイ  
企画：製作：劇団東京フェスティバル



第290回 2016年



旭川市民劇場 4月例会

4月18日 月 6:30

19日 火 1:30

上演時間 = 1時間30分 (休憩なし)

会場 = 旭川市公会堂

会 員 募 集 中

演劇で笑ったり、泣いたり、怒ったり。楽しく、大切な時間を、私たちと一緒に過ごしませんか。

旭川市民劇場まで詳しくは	●入会金	2,000円
	●会費(月)	一般：2,500円
		大学生：1,000円
		高校生以下：500円

会員になると年6回の演劇を鑑賞できます。

TEL: 23-1655 住所: 旭川市3条通8丁目緑ビル1号館2F